

令和7年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修 ※ハイフレックス型

研修名	国語科における文学的文章の「読みの交流」について考える					
資質向上に関する指標（文科省）	学習指導 ICT や情報・教育データの利活用		プログラム指標 （しまだい）	授業デザイン		
キャリアステージ	自立・向上期（ 1～10 年目）	○	研修レベル	基礎（学部 1・2 年レベル）		
	探究・発展期（10～20 年目）	○		応用（学部 3・4 年レベル）		○
	充実・円熟期（20 年目以降）	○		発展（大学院レベル）		
開設日	令和 7 年 8 月 1 8 日（月）		時間数	6 時間	定員	30 名
会場（対面）	山陰教員研修センター （島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程に併設）		所在地	島根県松江市大輪町 416-4		
授業形態	講義、ワークショップ		対象校種	全校種		
実施方法	対面（集合型）または YouTube Live 視聴（オンライン非同期型）のいずれかを選択）		対象教科	国語（対象教科外の方でも受講可能ですが、専門的な内容も含みます。）		
			対象職種	広く学校教育関係者		
担当講師	とみやす しんご 富安 慎 吾（島根大学教育学部 准教授）					
研修内容	国語科において、文学的文章における「読みの交流」は長らく行われてきた学習方法です。この講習では、改めて文学的文章で「読みの交流」を行うことの意義について考えた上で、ICT なども活用した交流の仕方について検討していきます。					
日程 ※個人ワークの進み具合によって、予定時間が変更となる場合があります。	時 間		内 容 ※研修中は適宜休憩をとります。			
	8：40～ 9：00		受付			
	9：00～ 9：10		オリエンテーション ※YouTube Live 配信開始			
	9：10～10：30		ICT を用いた簡単な読みの交流			
	10：30～12：00		読みの交流について考えるための理論の学習			
	13：00～14：30		読みの交流を実際に行ってみる			
	14：30～16：00		読みの交流の方法の検討			
	16：00～16：15		「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時			
研修に関して各自準備するもの	<u>（対面で受講する場合）</u> ・募集要項に記載の携行品等をご持参ください。 ・PC もしくはタブレット（インターネットに接続できて、まとまった文字が入力できるもの） ・iPad を使用する場合は「miro」という無料アプリをインストールしておいてください。 ・最後の時間は、各自の教材で読みの交流の方法を検討します。ご自分で検討したい教材がある場合は、教材を持参してください。					
	<u>（YouTube Live 視聴）</u> ・YouTube Live が視聴できるようパソコン、ネット環境の準備をお願いします。 ・YouTube Live の URL、研修中の質問フォームの URL、研修課題入力用の書式、課題提出用フォームの URL、実施後アンケートの回答フォームの URL 及び講義資料は教師教育研究センターホームページより入手してください。その際のホームページの URL 及びパスワードは受講決定後お知らせします。					
事前課題	特にありません					

その他	• YouTube Live 視聴で受講された方は、研修課題は課題提出用フォームにアップロードし、実施後アンケートは回答フォームに入力し、送信してください。 • YouTube で配信された動画は、配信日を含めて3日間、視聴することができます。 • 対面で受講される方の駐車場は、附属義務教育学校前期課程校庭です。南側入口からお入りください。 • 講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。 tomiyasu@edu.shimane-u.ac.jp まで、ご連絡ください。
------------	--